

Bucknell 大学 TA 奨学生制度 2027-2028 募集要項 (第 23 期生)

1) 制度の概要

名古屋市立大学人文社会学部は 2004 年 11 月に米国ペンシルベニア州の Bucknell 大学との間に覚書きを取り交し、2005 年度から国際文化学科の学生を毎年 1 名、Bucknell 大学に日本語のティーチング・アシスタント(Teaching Assistant : 略して TA)として 9 ヶ月間派遣する奨学生制度を開始しました。Bucknell 大学で日本語の TA に従事しながら、自分でも好きな授業を各学期 1 科目履修でき、TA 給与約\$7,200 (過去実績を踏まえた見込み総額)の他に、授業料、寮費 (部屋・食事)、渡航費、など諸経費はほとんど Bucknell 大学から支給される制度です。

- 2) 派遣人数・時期：1 名 (受入大学の判断により派遣候補者数が増える場合あり。2 名となる可能性もある)。2027 年 8 月中旬から 2028 年 5 月中旬まで
(派遣時に在学の場合は、名古屋市立大学の 2027 年度後期と 28 年度前期を休学することが可能)

重要事項

- 本募集は、現時点での実施予定に基づき派遣候補者を選考するものです。派遣候補者として選出された後も、受入大学側の事情等により、プログラムが変更または中止となる可能性があります。また、本プログラムを第一希望とする学生を主な対象としています。応募にあたっては、以上の条件を踏まえ、留学計画や進路計画について十分検討してください。
- 応募にあたっては、ミスマッチを避けるため、委員長の川本との事前面談を必須とします。希望者については日程調整をしますので、メールでご連絡ください。

3) 資格・条件：

- 日本語を母語とする者
- 応募時点で、国際文化学科の 2 年生以上であること。(4 年生の応募も可能。ただし、TA に選ばれた場合には、仮に内定が決まっても TA を優先することを確約できる学生に限る)
- 日本語教育に関心・熱意があり (日本語教育を専攻している必要はない)、日本語の TA の役割を果たせること
- Bucknell 大学で学生として各学期 1 科目ずつ授業を履修できること (TA は TOEFL iBT で 100 点以上の学生であることが期待されている)
- キャンパス内の指定の寮に住み、大学の食堂で食事をとること
- TA に選ばれた場合、「事前準備活動」ならびに「事後活動」(報告会、後任派遣者への引継ぎ、等)に積極的に参加すること

4) TA の活動内容：

Department of East Asian Studies の日本語プログラム担当教授の指示に従い、週 20 時間、TA の仕事に従事する。基本的な内訳は、教室での授業 (7 時間)、授業準備 (6 時間)、オフィスアワーズ (2 時間)、ミーティング (2 時間)、その他 (教材作成等) (3 時間)。

5) TA 奨学生制度の内容 (Bucknell 大学から支給されるもの)

- TA 給与 約\$7,200 (見込み総額、分割して支給される) (税金を払う必要がある)
- 往復旅費
- 授業料 / 寮費 (部屋・食事) / 健康保険 (ただし、別途、自己負担で海外旅行保険 10 カ月を購入する必要あり)

6) 応募期間： 2026 年 10 月 22 日 (木) ～ 11 月 11 日 (水) 正午

7) 応募書類と提出先

1. Bucknell 大学 TA 奨学生応募用紙 (日本語・パソコンで作成。様式は学部ウェブサイトの「国際文化学科 【特色 3】 留学」のページでダウンロード。印刷して提出。要証明写真)
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/human/undergrad/intercultural-studies/curriculum/tokusyoku3/>
 2. 成績通知書 (学部情報システムから各自の成績通知書を印刷して提出)
 3. 志望動機 (日本語で 1,000 字以内、パソコンで作成。印刷して提出)
 4. 自己 PR (英語で 400 語以内、パソコンで作成。タイトルは “A Personal Statement” とし、添削を受けず自力で執筆のこと。印刷して提出)
 5. 2025 年 10 月以降に受験した TOEIC 公開テストの公式認定証の写し
- ※上記 5 点をセットにして各自で用意した封筒に入れ、5 階の国際文化学科事務室に提出すること。封筒の表に「Bucknell 大学 TA 奨学生制度応募書類在中」と書き、「学籍番号」と「氏名」を明記すること。なお、応募書類は返却しません。

8) 選考過程・スケジュール：

選考過程：1 次審査：学内書類選考 → 応募者の中から 2 次審査に進む候補者を選出
2 次審査：学内面接選考 → 3 次審査に推薦する候補者を数名選出
3 次審査：バックネル大学教員による最終面接 → 派遣候補者を選出

選考スケジュール (予定) [変更がある場合は掲示する]

2026 年 10 月 22 日 (木) 応募受付開始

2026 年 11 月 11 日 (水) 正午 応募受付締め切り (提出先 : 501 国際文化学科事務室)
2026 年 11 月 13 日 (金) 1 次審査結果発表 (メール連絡)
2026 年 11 月 18 日 (水) 18:00~ 2 次審査 (面接)
2026 年 11 月 24 日 (火) 2 次審査結果発表 (メール連絡)
2026 年 11 月末~12 月中 3 次審査 (バックネル大学教員による Zoom 面接)
2026 年 12 月中 派遣候補者決定 (バックネル大学から直接結果報告のメールが送られる)

9) 問い合わせ先 : 川本 (523 研究室 : kawamoto@hum.nagoya-cu.ac.jp)